

鳥取県社協だより

# 志あわせへ

Shi-a-wa-se-e

令和7年  
10月1日発行

秋号

第252号

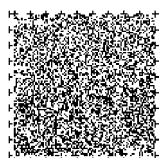


切り絵：三徳山 炎の祭典/紙原四郎（とっとりいきいきシニアバンク登録）

## 主な項目



音声コード「Uni-Voice」  
を印字しています。  
音声コードをアプリで読  
み込んでいただくと音声  
が流れます。



音声コード Uni-Voice

- P.2 ◆ 今日の眼 大山町社会福祉協議会 会長 山本 尚三  
ねんりんピック岐阜2025 選手団派遣
- P.3 ◆ 市町村社協の新たな挑戦
- P.4～5 ◆ 社会福祉法人による「地域における公益的な取組」紹介
- P.6 ◆ ねんりんフェスタ2025
- P.7 ◆ アートが創る地域共生社会  
とっとりボランティアバンク
- P.8 ◆ 若い世代をはじめ県民の皆さんへ保育の魅力を発信します！
- P.9 ◆ 令和7年度 社会福祉法人組織管理研修会の御案内
- P.10 ◆ 鳥取県DWATスキルアップ研修  
琴浦町災害VC運営研修
- P.11 ◆ 苦情解決事業研修会を開催しました
- P.12 ◆ 赤い羽根共同募金
- P.13 ◆ 「令和7年度介護のお仕事親子見学バスツアー」を開催しました！
- P.14 ◆ 御寄付御礼  
福祉人材研修センターをご利用ください
- P.15 ◆ 賛助会員募集  
ボランティア活動保険
- P.16 ◆ 鳥取県福祉研究学会 第19回研究発表会 研究発表募集



# 今日の 眼

このたび、6月19日付で大山町社会福祉協議会の会長を務めることになりました、山本尚三です。

大山町は、人口14,630人、世帯数5,572世帯で、高齢化率は40.3%と、かなり高くなっています。山間部から海岸部まで、いろいろな地形を持つているのもこの町の特徴です。

私たち社会福祉協議会では、大山町内で地域福祉事業をはじめ、介護保険事業や障がい福祉サービス事業を展開しています。誰もが住み慣れた土地で、安心して暮らし続けられるよう、日々支援を行っています。これからも柔軟な姿勢で対応し、信頼される社協の運営を目指していききたいと思います。

地域福祉をさらに効果的に進めていくためには、町内の福祉関係施設や、支え合いの活動をしている地域の自主組織など、いろいろな団体との連携が欠かせません。地域共生社会の実現に向けて、そうした皆さんとしっかり連携を取りながら取り組んでいきたいと考えています。

現在、私たちが行っている介護保険事業では、居宅介護支援、通所介護、訪問介護を行っており、障がい福祉サービスでは、居宅介護、生活介護、相談支援事業を実施しています。

ただ、地方でのサービスは、都市部とは違って、移動にかなりの距離が必要になることが少なくありません。でも現状では、その移動にかかる負担が、介護報酬の中に十分に反映されていないように感じています。

できることなら、次の介護報酬の改定では、こうした地方ならではの課題をしっかり考慮した見直しが行われることを、心から願っています。

大山町社会福祉協議会 会長

山本 尚三



## ねんりんピック岐阜2025 選手団派遣

昨年、鳥取県でねんりんピックはばたけ鳥取2024が開催され、全国から選手・監督をはじめ540,861人の方々が来場し、4日間にわたりスポーツや文化活動に熱戦を繰り広げ、多くの楽しみや生きがいをもとにしました。

今年のねんりんピック(全国健康福祉祭)は、岐阜県で開催されます。岐阜大会は2020年に開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で延期し、5年間のインターバルの後開催にこぎつけました。このたびの鳥取県選手団は、総勢141人で卓球やテニスなどのスポーツ交流大会、水泳やグラウンド・ゴルフなどのふれあいスポーツ交流大会、囲碁や将棋などの文化交流大会、美術展に参加します。みなさん、鳥取県選手に暖かい応援をお願いします。

### ねんりんピック岐阜2025の主な日程

#### 総合開会式

期日/10月18日(土)

場所/岐阜メモリアルセンター長良川競技場

#### スポーツ交流大会等

19日(日)~21日(火)

#### 美術展・地域文化伝承館

18日(土)~21日(火)



ミナモ

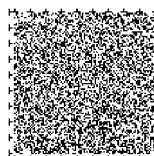
鳥取ことぶきネット

検索

大会結果の詳細は、鳥取県社会福祉協議会ホームページでご覧になれます。

※ホームページアドレス

<https://www.tottori-wel.or.jp/kotobuki/>



# 市町村社協の 新たな挑戦

## 【岩美町社協】



本会では、「地域福祉の推進とみんなで作る福祉社会の実現」という基本理念のもと、「県民参画による福祉のまちづくり（住民参画と市町村社協支援）」を重点テーマとして取組みを進めています。そこで、今年度から市町村社協で新たに取組む事業等をシリーズでご紹介していきます。

今回は、岩美町社協の子ども服等リユース事業、地域で取り組む福祉教育・ボランティア活動推進事業についてご紹介します。

### 一 子ども服等リユース事業

岩美町社協では、昨年度試行的に町内イベントでの子ども服等リユースのブース出展を行いました。住民から衣料品の寄付の申し出があったことをきっかけに、何か事業ができないかと検討していたところ、社会福祉法人が連携して相談・支援を行う「えんくるり事業」の参加法人による子ども服リユースの取組みを知り、まず取り組んでみようということで実施されました。子ども服と併せて大人向けの衣類も出品したところ、イベントブースは好評で、特に

高齢者の方が試着をしながら楽しんで服を選んでいくことから、今年度新規事業として取り組んでいくこととしました。

昨年度は社協単独による開催でしたが、今年度は町内の法人とも連携しながら取組みを進めていこうと考えられています。

8月末には、町内にある高齢者施設・岩井あすなろと連携して、施設の夏祭りのなかでブースを設け、子ども服等のリユースの企画を進めていました。えんくるり事業の相談員連絡会で、社協と施設の職員が出会ったことで、協力してなにかできないかと連携を模索。ヘルパーが高齢者の自宅に伺った際に、外出用の服に困ったということがあり、高齢者の方へのニーズが見込まれること、夏祭りであれば利用者の家族や地域の方の参加もあることから、子ども用のみならず高齢者向けも準備を進めました。事情により直前でやむなく中止となりましたが、時期を見て改めて実施する予定だそうです。

また、社協で実施している生活困窮者自立相談支援事業による就労に

向けた支援のなかで、就職活動に必要なスーツの購入に困っている方があり、スーツのような、一時的に使用するもので高額な用品についても今後はリユース品として提供ができないか検討しているそうです。

### 地域で取り組む福祉教育・ボランティア活動

この事業は、地域の多様な団体と社協が連携・協働して地域を基盤とした子どもや地域住民の福祉活動・ボランティア活動の推進・支援するためのプログラム等を開発することを目的に県社協から指定を受けて実施するものです。岩美町社協では今年度から3年間の指定を受けて実施しています。

今年度は、町内にある多様な団体とのつながりを深めながら、地域住民の福祉意識の向上を図っていくことと、まずはこれまで取り組んできていた夏休みのボランティア体験教室に加える形で、町内の団体の方の思いや意向などを聞きながら、新たな講座を一緒に考えていきました。

具体的には、岩美町赤十字奉仕団の方たちと連携し、災害時のおやつ作りや避難所等で活用できる新聞紙を使ったスリッパ作り等の体験を行ったそうです。参加した子どもたちには好評で、なかには今回の体験の内容をチラシにまとめ、地域の人に配ってみんなに知ってもらいたい

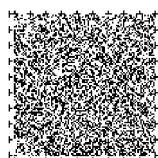
という子どももいたそうです。

また、福祉教育の枠組みに捉われず、生活支援体制整備事業で進められている健康マージャンやeスポーツを活用した住民の孤立防止の取組みと絡めながら、高齢者や若者、子どもたちがお互いの得意分野を活かした交流を図り、地域にともに暮らす住民としての意識をもつつながりを作っていくことも検討されており、福祉教育を全世代を対象に取り組んでいこうとされています。



### 【編集後記】

多くの職員が複数の事業を兼務されている中で、その兼務を活かし、事業間の連携を意識した取組みが見られました。今後の展開がとも楽しみます。





## 社会福祉法人による 「地域における 公益的な取組」紹介



社会福祉法において、社会福祉法人の責務化とされている「地域における公益的な取組」について、県内の社会福祉法人の取組みをシリーズで紹介しています。

今回は、養和会 あんず・あぷりこの「親子パン教室・出張パン教室」と、琴浦町社会福祉協議会の「生活用品支援事業」の取組みを紹介します。

社会福祉法人養和会  
就労継続支援B型事業所  
あんず・あぷりこ

親子パン教室・出張パン教室  
「コロナ禍でも親子で楽しめる機会を」

### 【取組みの経緯・内容】

あんず・あぷりこでは、障がいのある方の就労支援として、パン工房とカフェを運営しています。新型コロナウイルスが流行し始めた5年ほど前、外出や遊びに行けず、外食もできない状況のなか、何か子どもたちが楽しめることができないかと考え、事業所でのパン作りを活かした親子パン

教室を始めました。

当初はカフェスペースを活用して行っていました。現在はパン工房に近い事業所の食堂を活用して行っています。事業所の食堂ですることにより、事業所の様子や見学通路からパン工房も見え、普段どんな場所を利用者の方が働いておられるのか、参加者の方の目に自然と触れることで、事業所や障がいのある方への理解につながればとの思いから、変更したそうです。

また、事業所がある地域の子ども会と連携して、出張パン教室も開催しています。もともと自治会とのつながりがあったことから、地域の子どもたちのためにパン教室ができないか提案し、地元公民館を使った出張パン教室の開催が実現できたそうです。生地は事業所から運び、パンを作ることを楽しんでもらい、一旦事業所に持ち帰って焼き上げたパンを参加者の方に取りに来ていただいています。後日参加者の方が、自宅でパンを食べている様子を写真やほかなどで送ってきてくれるそうです。

それぞれ年1〜2回程度開催しており、インスタグラムなどのSNSを活用して周知していますが、毎回お知らせを公開してからすぐに定員いっぱいになるほど好評です。次の開催の問い合わせがあるなど、楽

しみにしている方も多いようです。

### 【取組みによる成果】

- 外出などがなかなか出来なかった子どもたちにとって、楽しみとなる場所の一つとなりました。
- 新型コロナウイルスが落ち着いてきた後も参加者が絶えず、毎回盛況となっており、地域において必要とされる教室となっています。



### 【活動者コメント】

- コロナ禍でこうした教室を開催することは、事業所にとって感染のリスクも感じていましたが、地域の方にコロナ禍での楽しみを提供できたことはとてもよかったと感じています。

- 自分たちの事業所の活動を活かし、パン作りという親子で一緒に作って楽しめる機会を作ることができたことは、自信につながりました。

- 参加者の方から送られてくる写真

やはがきには、親子で嬉しそうにパンを食べている姿があり、取組みを続けるモチベーションになっています。

### 【利用者の声】

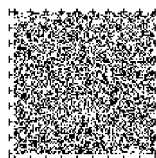
- コロナ禍でなかなか出かけることがなかったなか、こうした体験ができ、ありがとうございました。子どもたちがとても楽しそうで、次回も是非参加してみたいです。

### 【事例提供法人】

社会福祉法人養和会  
就労継続支援B型事業所  
あんず・あぷりこ

鳥取県米子市上後藤8-9-23  
電話番号 0859-48-0483  
FAX 0859-48-0484  
法人HP  
<https://www.yowakai.com/welfare/anzukoubou.html>

他に実施している公益的取組み…  
専門職実習生の受入れ、スクー  
ルソーシャルワーカーの派遣、  
障がい者スポーツの普及、なん  
でも相談ダイヤル、地域の防犯  
活動への協力





社会福祉法人琴浦町社会福祉協議会  
(町内3法人による連携)

「社会福祉法人立石会・社会福祉法人赤碕福祉会・社会福祉法人琴浦町社会福祉協議会」

## 生活用品支援事業

「生活全般を支援していくために」

### 【取組みの経緯・内容】

琴浦町では、平成29年度に町内の社会福祉法人3法人（琴浦町社協、立石会、赤碕福祉会）による法人連絡会を立ち上げ、地域のなかで各法人が感じている課題や情報を共有し、必要とされる支援の検討などを行っています。

平成30年からは、子ども食堂の取組みを進めていましたが、コロナ禍の影響で令和2年度より休止となりました。それを機に、改めて社会福祉法人として地域住民のために何かできることはないか、具体的に協議を進めていくため、各法人で直接地域住民と関わっている職員による意見交換の場を設けました。

琴浦町社協へ生活に困って相談に来られる方のなかには、食糧の提供に抵抗がある方もありました。そこで、生活用品であれば受け入れてもらえるのではないかと考え、各法人や地域に眠っている生活用品を募集し、相談に来られた方で必要とされ

ている方に提供する事業を提案しました。

これに対し、集まったものを保管する場所をどうするのかといった意見もありましたが、各法人で保管場所を確保することで進めていくこととなり、令和4年度から事業を開始しました。

主に洗濯洗剤や柔軟剤、シャンプー、高齢者用オムツ、未使用のタオル、石鹸など各法人や地域住民から寄付をいただき、生活に困って相談に来られた方のお話を丁寧に向いながら、食料の支援とあわせて、必要とされる生活用品を提供しています。

これまでに20～70歳代の子育て世帯や高齢者を介護している世帯の方14名に約100点の生活用品の提供を行いました。相談は本人から直接社協に来られる場合や町役場の福祉・子育て関係課を通じて来られることもあり、町役場と連携を取りながら支援をされています。

また、こうした事業の状況を地域住民や法人連絡会で報告をし、意見などを伺っています。

### 【取組みによる成果】

●この事業を開始するまでは、現物として食料の支援を行っていましたが、生活用品も支援できるようになり、食べ物に限らず、生活全

般の困りごとなどについて話を伺うきっかけにもなっています。

●地域住民から寄付を募り、状況の報告を行うことで、地域にどんなことで困っている人がいて、どのような支援が行われているかという意識してもらうきっかけになっています。

### 【活動者のコメント】

●貸付を希望し相談に来られても貸付条件に合わない方もおられますが、生活用品や食料品の支援ができることを伝えることで、生活の様子や生活全般の困りごとを話してくれやすくなっています。

### 【利用者の声】

●洗濯洗剤や石鹸など生活に必要なものも困っていたので、大変助かります。



●子育て中で子どもに関する用品は負担が大きいので、とてもありがたいです。

### 【事例提供法人】

●社会福祉法人琴浦町社会福祉協議会

本部所在地／鳥取県東伯郡琴浦町大字浦安123・1

電話番号 0858-5213600

FAX 0858-5312035

法人HP／

<https://www.kotoura-shakyo.jp>

●社会福祉法人立石会

本部所在地／鳥取県東伯郡琴浦町八橋1937番地

電話番号 0858-5312820

FAX 0858-5312822

法人HP／

<http://hp1.tcbnet.ne.jp/~midori/index.html>

●社会福祉法人赤碕福祉会

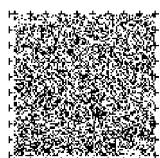
本部所在地／鳥取県東伯郡琴浦町赤碕1061・3

電話番号 0858-5512051

FAX 0858-5512445

法人HP／

<https://www.hyakujyuen.jp/>



つなげよう!  
ねんりんピックの感動を未来へ

# ねんりん フェスタ2025

NENRIN FESTA

入場無料

期日 令和7年 11月9日(日)  
9時～16時

会場 ヤマタスポーツパーク  
鳥取県民体育館  
メインアリーナ

昨年10月には第36回全国健康福祉祭とっとり大会「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」が、「咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花」のテーマのもと開催され、全国から1万人の選手が集い、観客等を含めると54万人を上回る参加者があり大成功をおさめました。

鳥取県はこの大会で培ったレガシーを継承するため、「ねんりんフェスタ2025」を開催します。このフェスタはとっとり大会で行われたイベント「地域文化伝承館」の後継事業として、郷土芸能や演奏、マリオネット等で活躍するシニア世代の皆様  
のステージ発表や、ねんりんフェスタブース、ふれあい  
ニュースポーツ、eスポーツコーナー、ふるさとグルメ  
など、ご家族皆様で楽しめる内容になっています。多く  
の方のご来場をお待ちしています。



## 主な内容

### ステージ発表出演団体

麒麟で♡いっぱい、ゆかむり音頭保存会、Amyu、山田盆踊り保存会、アールファイブ、  
鬼太郎音頭保存会、のばなの会、泊貝がら節保存会

### 出展団体

あおや和紙工房、八頭町老人クラブ連合会、グループさくら、人形浄瑠璃新田相生会、  
倉吉市老人クラブ連合会、北栄町、ふれあいクラブ伯耆、鳥取県老人クラブ連合会、  
とっとりいきいきシニアバンク

### ふれあいニュースポーツ

ボッチャ、スカットボール、ラダーゲッター、パットゲームスター

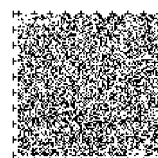
### eスポーツ

太鼓の達人、スイカゲーム、肺活量ゲーム

### ふるさとグルメコーナー

駄菓子ストリート、TOKUちゃん、はたの亭、OKAWARI POPCORN、  
リトルアイランドマーケット、山陰の宝、鳥取県畜産農業協同組合、  
マンマミーア、トリコ、ハレルヤ、mash CAFÉ、美空

◆問い合わせ先 生涯現役推進室 ☎0857-59-6338◆





# アートが創る地域共生社会

県民が広く参加し地域福祉について学ぶ地域福祉県民講座「緑陰大学」を、7月4日にエースパルク未来中心で開催しました。

47回目となる今回は、令和7年3月30日に鳥取県立美術館が開館したことを受け、「アートが創る地域共生社会」と題し、「障がい者とアート」、そして「アートによる表現活動を通じた社会参加」について学びました。約200名の参加がありました。

基調講演では、社会福祉法人愛成会理事長の小林瑞恵様より、今年度のテーマに沿って、芸術文化がいかにして人と人、地域と社会の関係性を築き、共に生きる社会の基盤となり得るかということについて講演いただきました。障がいの有無や年代に関係なく誰もが集まる場所を作ったり、地域の現場に出て行ったりするための方法の1つとしてアートがある事を学びました。



続くパネルディスカッションでは、基調講演の小林様の他、鳥取県内で活動されている福祉事業所や鳥取県立美術館を代表する方々に登壇いただき、「アート」を通じて障がい者の社会参加について事例や取り組みを発表いただきました。それぞれ特色ある活動や想いを持つていらつしやるのはもちろんですが、当事者を支援する関わりというよりも、共に活動することを楽しまれている様子が印象的でした。

文化芸術活動には人と人とのつながりや地域の魅力と価値の創出ができるのだと気づくとともに、自分達の生活圏内にそのような場所や活動がある事を知る機会となりました。



◆問い合わせ先 福祉振興部 ☎0857-59-6344◆

そんなときは…

## とっとりボランティアバンク

ボランティアの力を借りたい

誰かのために力になりたい

登録すると何ができるの？

どんな活動があるの？

ご登録ください！



ボランティア  
したい人(団体)

ボランティア募集情報や関連講座・研修などの情報を受け取ることができます。

### 災害支援

豪雨や台風で被災した地域では土砂の除去や家具の運び出し等を行いました。

### 生活支援

話を聞いたり外出を支援したり、大雪の時は雪かきなど様々なボランティアを行っています。



ボランティアの  
力を借りたい団体

HPやメルマガを通じて、ボランティア募集や関連講座・研修などの情報を発信できます。

### 登録方法

登録票に必要事項を記入のうえ、FAX Eメール、郵送等で送付してください。

HP: <https://www.torivc.jp/>

※HPから直接申込可能！

ご利用・ご登録は  
全て無料です

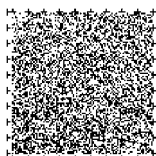


※過去の活動の一例です

【お問い合わせ・ご相談は】

福祉振興部 鳥取県ボランティア・市民活動センターまで  
ボランティアに関するお悩み・ボランティアの募集や関連講座の  
情報等お気軽にご相談ください！

TEL (0857)59-6344 FAX (0857)59-6340



# 若い世代をはじめ県民の皆さんへ保育の魅力を発信します！

～ 鳥取県保育士・保育所支援センターの取組み ～

## 1 保育のおしごと体験事業(中学・高校生向け)(11月にも実施予定)

県内の中学・高校生を対象として保育所等で子どもたちと一緒に過ごすことにより、保育という仕事の魅力を体感してもらい、保育士という職業が将来の選択肢となることを目的に開催しました。

本年度は、保育園・認定こども園計33施設において、7月29日(火)・31日(木)・8月5日(火)・7日(木)・11月4日(火)・21日(金)の6日間、延べ87施設に209名もの参加申込をいただき、このうち夏休み期間中に181名が参加しました。

午前中には絵本の読み聞かせ、椅子取りゲーム、給食補助など子どもたちとふれ合い、午後からは園長先生や保育士さんと体験を振り返りながら、仕事のやりがいや魅力についての貴重なお話を伺いました。

参加者からは「一人一人に向き合った仕事はすごいと思いました」「子どもたちの成長を近くで感じることができる事はやりがいになると感じました」などの感想が寄せられ、貴重で有意義な体験となったようです。

今回の体験を将来の職業を考える際に、是非、思い起こしてもらい、一人でも多くの生徒さんが保育士を目指してくれることを願っています。

また、園の皆様には多くの生徒さんを快く受け入れていただきありがとうございました。



(7/31 いづみ保育園)



(8/5 上北条保育園)



(8/5 認定こども園鳥取第一幼稚園)

## 2 保育の出前説明会

若手保育士等が先輩として学校を訪問し、仕事のやりがいや魅力などについて直接語りかけることで、中学生や高校生に自らの将来をイメージしながら職業選択の参考としてもらうことを目的として実施しています。今回は7月18日(金)に県立米子高等学校20名の生徒さんに認定こども園よなごベアーズの若手保育士さんからわかりやすくお話ししていただきました。

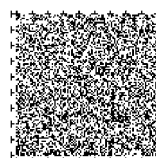


## 3 保育の魅力発信事業

行政機関、保育士養成校、保育に携わる団体などが協働し、若者や保護者をはじめとする県民の皆様に保育に対する理解を深めていただけるよう、以下のとおり米子市との共催により開催することを計画しています。

- と き 令和7年12月20日(土) 10:30～12:30
- ところ 米子市福祉保健総合センター(ふれあいの里)
- テーマ 「保育の魅力発信 クリスマス・マルシェ'25 in Yonago！」(仮題)  
保育のあれこれを「見て」「聞いて」「触れて」魅力を発見しよう！ ～一緒に時間に魔法は起きる?!

◆問い合わせ先 福祉人材部 ☎0857-59-6342◆





# 令和7年度 社会福祉法人 組織管理研修会の御案内

## ～ リスクマネジメント ～

社会福祉施設を経営する法人にとって、リスクマネジメントは、より安全で安心できる職場づくりに極めて重要です。施設における事故や虐待、情報漏洩など、日常的な事例を通して、職場でできる実践的な対策と、組織としての管理の手法を学びます。

**日 時** 令和7年 **10月30日(木)** 13:30～16:30

**参加対象** 社会福祉法人の役員、施設長、人事担当者等

**方 式** オンラインでの開催(Web会議用ソフト Zoom利用)  
ブレイクアウトルームによる意見交換も予定

**講 師** けあんちゅPro 代表 森 幸夫 氏

**定 員** 40名(先着順とし、定員になり次第締め切ります)

**参加費** 2,000円／人

**申込期限** 令和7年10月23日(木)

**内 容** ○リスクは現場の中に  
○虐待防止のリスクマネジメント(事例検討)  
○個人情報保護のリスクマネジメント(事例検討)  
○「職場文化」が事故を防ぐ



### 【講師プロフィール】

ケアマネージャーなど介護現場の経験が32年。介護福祉士のほか、中学・高校の社会科教員免許を保有。自治体における介護の入門的研修、事故防止・虐待防止研修の講師などの実績あり。

◆ 申し込み及び問い合わせ先 ◆ 福祉振興部 ☎0857-59-6344

MORRIX JAPAN Corp.



私たちは人にやさしい快適環境を創造し、  
未来をデザインするヒューマン企業です。

介護・自立支援・栄養管理・勤怠・給与・会計・セキュリティシステムから  
介護用品まで介護現場をトータルでサポート致します。

お客様の環境と問題点をお聞きし、事務の効率化、介護現場の効率化を共に  
考え最適なシステムをご紹介します。

### ■ 当社の取扱い介護・自立支援・栄養管理システムメーカー

ND ソフトウェア株式会社 (ほのぼの NEXT)

株式会社 ワイズマン

株式会社 東経システム (福祉見聞録)

株式会社 日立システムズ (福祉の森)

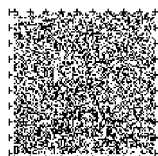
株式会社 コーエイコンピュータシステム (EIBUN)

株式会社 モリックスジャパン

本 社 〒680-0912 鳥取県鳥取市商栄町 203-6  
TEL 0857-23-3641 FAX 0857-22-3329

倉吉店 〒682-0812 鳥取県倉吉市幸町 529  
ユーマーレジデンス 1-3 号  
TEL 0858-24-5451 FAX 0858-24-5452

モリックスジャパン



## 鳥取県DWAATスキルアップ研修

鳥取県DWAATは7月24日(木)にチーム員の実践力向上を図るため、DWAATスキルアップ研修を開催しました。今年度は令和6年能登半島地震の経験を踏まえて、災害時避難所等での保健・医療・福祉の連携をテーマにしました。

本研修会では、はじめに講師の一般社団法人FEELDO代表理事菜原英文様からキーノートスピーチとして、昨今の災害関連の法制度の改正内容等のお話をいただきました。その後、鳥取県DWAAT事務局からのDWAATの概要説明、鳥取県福祉保健課から災害時の県の保健医療福祉に関する体制、日本赤十字社鳥取県支部平尾課長補佐から災害医療救護活動についてのお話、中部総合事務所倉吉保健所原保健師から令和6年能登半島地震での活動報告をいただきました。そして、午後からは若手県DWAAT・盛岡赤十字病院小泉進様から「若手県DWAAT大船渡市山林火災での活動報告」と「平成30年西日本豪雨での保健医療福祉の連携事例」をお話いただき、DWAATの実践的な内容を学びました。小泉様から提供いただいた事例を保健師とDWAATチーム員

の合同のグループで検討することによって、疑似的に連携場面を経験することができました。

参加者からは「若手県DWAATの活動報告と演習、とても有意義な時間だった。演習でやった外部からの支援者と主体者(地元)との意見食い違い：リアルでした。改めて支援の難しさや奥深さみたいなものを感じる研修でした」、「今後いろいろな関係機関を含めた実践的な研修や訓練ができればいいなと思いました。」などのご感想をいただきました。今後も研修や訓練を企画し、保健医療福祉の円滑な連携ができるように、DWAATの実践力を高めていきたいと思います。



◆問い合わせ先 災害福祉支援センター ☎0857-30-6367◆

## 琴浦町災害VC運営研修

災害発生後、地域の日常生活復興に向け設置される「災害ボランティアセンター」の運営について学ぶ研修を、日野ボランティア・ネットワーク代表の山下弘彦様を講師にお招きし、琴浦町にて開催しました。

山下様は「災害が起こると、住民が普段から抱えている課題の数量・困難さ・分野・緊急性など、平時より増大し深刻化する」とお話しされ、平時の地域課題への取り組みの重要性を強調されました。更に、普段から住民の「声」になりにくい「声」を聴く工夫として、訪問活動やサロン活動といった例についてお話しいただきました。災害ボランティアセンターの機能や運営の基本知識に加え、被災者に寄り添った運営についても理解が深まりました。

また、琴浦町社会福祉協議会の青木主事より、能登半島地震における災害ボランティアセンターの支援報告をいただきました。現場の写真と共に、1日の活動の流れやその中で経験された出来事などが紹介され、当時の様子が鮮明に伝わってきました。

特に大変な状況の中で活動し、

気持ちの面でも負担を感じた経験をふまえながら、「スタッフ同士の配慮についても目を向ける必要がある」ということを強調されました。運営の注意点など体験からわかりやすく伝わる報告でした。

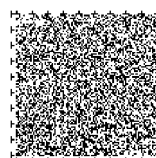
グループワークでは、住民から寄せられる困りごとへの対応について検討し、活発な議論が繰り広げられました。住民が置かれている状況は一人として同じではなく、それぞれに寄り添った対応が必要であるということを再確認し、災害ボランティアの難しさを感じました。

参加者の方から「災害ボランティアは奥が深いということが分かりました」といった声も挙がり、基礎から実践まで学べる充実した研修となりました。



実践報告時の青木主事(右端)と山下講師(左端)

◆問い合わせ先 災害福祉支援センター ☎0857-30-6367◆





# 苦情解決事業研修会を開催しました 福祉サービスの質の向上を目指して



県立福祉人材研修センター

福祉サービス運営適正化委員会では、事業所の苦情解決体制整備に向けた支援として、毎年、苦情解決の取組みを充実していただくための研修会を実施しています。今年度は7月18日に苦情解決責任者（役職員、理事等）、第三者委員等向けに「苦情解決事業研修会」を開催し、会場参加とオンデマンド参加（録画視聴）を合わせ、約400名の社会福祉施設・事業所の方に参

加していただきました。

研修では、駒澤大学文学部社会学科教授の川上富雄様から「福祉サービス事業所における苦情解決の取組みについて」と題して、講演をいただきました。

事業者は苦情解決責任が求められることとなった経緯・背景を紐解きながら、なぜ苦情が出るのか・どう対応する必要があるのかについて、苦情の出やすい事業者の特徴やサービス・対応の例を紹介しつつ、利用者とコミュニケーションを取り、どのような声にも真摯・誠実・迅速に対応することが基本であること、「苦情＝悪・恥」と捉えるのではなく「改善のきっかけ・ヒント」と捉えることが大切で、小さな要望や不満を聞き逃さず早めに丁寧に対応することが大きな苦情になることを防ぎ、決定的な断絶を回避できることを説かれました。

また、第三者委員の設置や苦情対応に役立つ対人援助の基本技術、コミュニケーション技法に触れていた



川上講師

解説したケーススタディも行っていただきました。

会場参加者からは「苦情対応のポイント、対応する際の考え方がよくわかった」「具体的事例の説明、演習があつて分かりやすかった」などの感想をいただきました。

今後、当委員会では施設・事業所の皆様と連携して苦情解決取組体制の充実を図り、福祉サービスの質の向上につなげていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

◆問い合わせ先 福祉サービス運営適正化委員会 ☎0857-59-6335◆



パソコン修理～

介護ソフト～

伝送設定～

OA機器 リース メンテナンス

有限会社 松本事務機

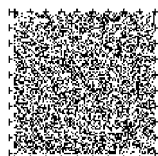


鳥取市千代水2丁目117番地

<http://values.main.jp>

☎ 0857-31-6661

FAX 0857-31-6662





社会福祉法人 鳥取県共同募金会

# 赤い羽根共同募金

～じぶんのまちを良くするしくみ。～



## 10月1日から共同募金運動が始まります

共同募金は、地域の福祉事業や活動に助成するため、事前に使いみや集める額(目標額)を決めて、計画的に実施する募金です。地域には、様々な方々が生活しておられ、いろいろな地域課題があります。

共同募金ではその課題を解決するため、地域で「じぶんの町を良くするしくみ」を進める活動(地域福祉活動)を財政の面から応援します。また、近年では災害支援の分野にも役立てられています。毎年赤い羽根共同募金の一部を「災害等準備金」として積立て、地震や豪雨などによる大規模災害が発生した際に、被災地で求められる災害ボランティア活動に活用されています。

### 十分な支援を届けるための「募金目標額」

共同募金は、予め市町村ごとに助成先や助成事業を決めてから募金を行う「計画募金」です。そのため、支援が必要なところに助成金が行き渡るよう、募金目標額を定めて、皆さまにご寄付のご協力をお願いしています。

#### 令和7年度の募金目標額

合 計	115,000,000円
一般募金	95,000,000円
歳末たすけあい募金	20,000,000円

### 募金の種類

直接募金をしていただく他、いろいろな募金の方法があります。詳しくは窓口にお尋ねください。

#### 振込による寄付

最寄りの郵便局からお振込みいただけます。(手数料無料)



#### ネット募金

インターネットから直接寄付ができます。



#### 赤い羽根自動販売機

ご協力いただいた設置者様や飲料メーカーから、売上げの一部が共同募金として寄付される共同募金協力型自動販売機です。



### 第79回 赤い羽根共同募金運動

令和7年度 10月1日～3月31日 (12月1日～31日 歳末たすけあい募金 1月1日～3月31日 つかいみちを選べる募金)

79回目を迎える共同募金運動が10月1日から全国一斉に始まります。この共同募金は、寄付していただいた皆様の地域で役立てられています。子どもからお年寄りまで、みんなが一緒に安心して暮らせる町づくりのために、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人鳥取県共同募金会 会長 児嶋 祥 悟



みなさまから寄せられた寄付金は、鳥取県内の福祉活動に役立てられます

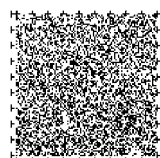
「赤い羽根」は共同募金運動のシンボルです。長年、共同募金へご協力いただいた印に赤く染めた鳥の羽を配布していますが、今後は赤い羽根のイラストの「しおり」に変更をします。

ご理解とご協力を  
お願いいたします

一定の募金額に応じてオリジナルバッジ等を差し上げます。



令和7年度  
オリジナル バッジデザイン





# 「令和7年度介護のお仕事親子見学バスツアー」を開催しました!

夏休み自由研究応援企画として「介護のお仕事親子見学バスツアー」を実施しました。小学校4～6年生の親子を対象に、福祉施設の見学と福祉機器の利用体験、福祉系専門校の学習設備の見学と学校講師の助言を受けて自由研究のまとめ資料を作成しました。

○開催日・参加人数・見学先(東部と中部は1回、西部は2回開催)

**東 部** 令和7年7月27日(日) 参加者4組8名

ふしの白寿苑・鳥取社会福祉専門学校

**中 部** 令和7年7月26日(土) 参加者6組13名

湯梨浜はごろも苑・鳥取社会福祉専門学校

**西 部** ①令和7年8月2日(土) 参加者9組18名

②令和7年8月9日(土) 参加者8組16名

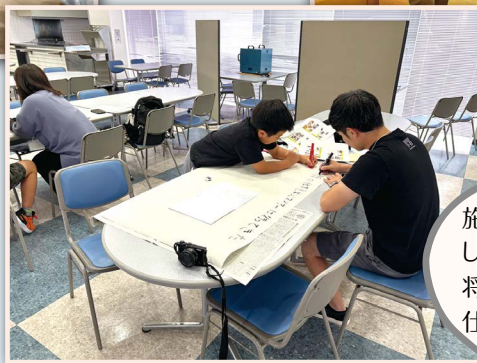
特別養護老人ホームゆうらく・YMC A米子医療福祉専門学校



リフトを使うと楽に持ち上げて移動できるんだな。福祉用具を使うことで入居者の方と職員の方の両方の身体を守ることができるそうです。



車いすにはいろいろな種類があるよ。背もたれやクッションも乗る人に合わせて調整や工夫をしていますごい!



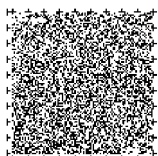
施設の職員の方たちがとてもやさしく接していて素敵でした。将来、こんなふうに人の役に立つ仕事がしたいと思いました。

## ○保護者の声

- 車椅子、高齢者疑似体験など、普段できない体験ができてとても良かった。(東部)
- 見学を通して、子どもだけでなく、親にとっても学びがたくさんありました。(中部)
- 貴重な体験ができ、自由研究にも取り組むことができ良かったです。(西部)

施設職員の方からお話を聞いたり、さまざまな福祉用具や機器を実際に体験したりして、参加者のみなさんはたくさんの発見があったようです。保護者からは「“今の介護”の一旦に触れてイメージが変わった」との感想も聞かれました。

本会では、社会になくってはならない大切な仕事である「介護のお仕事」の魅力を知っていただけるよう引き続き発信していきます。



◆問い合わせ先 福祉人材部 ☎0857-59-6336 ◆

## 御寄付御礼

御寄付を賜り誠にありがとうございました。御意志に従い活用させていただきます。

〔交通遺児福祉資金〕への御寄付（県内の交通遺児へ激励金を支給します。）

◆ 有限会社 仁徳砂利 様

◆ 問い合わせ先 総務部 ☎0857-59-6331◆

鳥取県立

# 福祉人材研修センター

をご利用ください

鳥取県立福祉人材研修センターは

福祉人材の養成等を目的とした研修・セミナーはもちろん、  
一般の企業・団体様の会議・研修などでも利用が可能です。  
全館バリアフリーで、多目的トイレ・点字ブロック等も完備。  
障がいのあるなしにかかわらず安心して利用いただけます。

各研修室にはWi-fiも設置済です。

福祉目的の利用には  
**利用料金の減免**があります

### 利 用 例

福祉人材の養成研修、介護知識・技術の講座  
一般企業・団体の会議・研修  
講演会・セミナー など

●空き状況確認

とっとり施設予約サービス [検索](#)



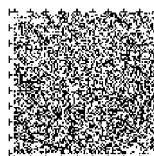
所在地：鳥取県鳥取市伏野1729-5

●開館時間：9時～17時（夜間利用は応相談）

●休館日：祝祭日・年末年始・保守点検日（その他災害等による臨時休館あり）  
各部屋の収容人数・利用料金等をインターネットでご確認いただけます。

鳥取県 福祉人材研修センター [検索](#)

利用予約・ご相談 0857-59-6330





## 賛助会員を募集しています

本会では、地域福祉の推進とみんなでつくる福祉社会の実現に向けて、  
**“県民参画による福祉のまちづくり” “安心して暮らせる仕組みづくり” “福祉を担う人づくり”**を中心に地域の様々な機関・団体と連携して、安心して暮らせる地域社会をめざしています。

賛助会員の皆様のご協力をいただき、県内の地域福祉をより一層充実していきたいと考えています。本会の趣旨にご賛同いただき、会員としてご支援、ご協力をくださいますようお願い申し上げます。

**会 費（毎年度） 団 体 一口：10,000円**  
**個 人 一口： 3,000円**

### 【賛助会員になるには】

入会を希望される方は、鳥取県社会福祉協議会ホームページより加入申込書をダウンロードしてください。

必要事項を記入の上、本会まで郵送してください。入会申込書受理後、会費納入のご案内をお送りします。

◆申込書送付先◆ 〒689-0201 鳥取県鳥取市伏野1729-5 鳥取県社会福祉協議会 総務部

**新規会員様ご紹介**（令和7年8月31日現在、順不同）

ご入会いただきありがとうございます。

**YAHATA株式会社 様**

浜田 定則 様

西川 泰介 様

岡崎 隆司 様

寺杣 祐以 様

◆問い合わせ先 総務部 ☎0857-59-6331◆

## 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

令和7年度

# ボランティア活動保険

商品パンフレットは  
**コチラから**  
 （ふくしの保険ホームページ）



### 保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷		×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料			350円	500円

### <重 要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



### ボランティア行事用保険

（傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険）

### 送迎サービス補償

（傷害保険）

### 福祉サービス総合補償

（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション)）

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者

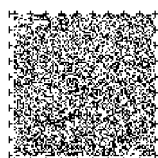
**社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

（引受幹事保険会社）  
 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
 TEL: 03(3349)5137  
 受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）  
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店

**株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL: 03(3581)4667  
 受付時間：平日の9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）



（SJ24-10057より抜粋）

# 鳥取県福祉研究学会

## 第19回研究発表会 研究発表募集

ひとつひとつの小さな種(実践・研究)が、  
やがて大きな花(福祉社会の発展)を咲かせる

募集締切

令和7年

12月15日

### ① 発表対象者

鳥取県内に所属・在住する福祉に関する業務に従事している者、福祉に関する調査研究している者、その他福祉に関心を持つ団体・個人

### ② 募集内容

(1) 口述発表(奨励賞の審査対象です)…分野別の発表を募集します。

あらかじめ指定された時間内に、発表者が研究成果を口述により発表するものです。

No	分 野	研究発表例
1	高齢者福祉(施設系)	介護、高齢者虐待防止、認知症ケア、地域密着サービス、生きがい対策等
2	高齢者福祉(在宅系)	
3	障がい児・者福祉	生活介護、生活自立訓練、就労支援、社会参加促進等
4	児童福祉	児童養護、保育、情緒発達支援、母子・父子家庭支援、児童虐待・DV防止等
5	地域福祉	地域福祉計画、住民福祉活動、福祉教育、ボランティア等
6	その他社会福祉領域	共生型ホーム、生活保護、成年後見、権利擁護、企業CSR、食育等

(2) ポスター発表(奨励賞の対象となりません)…分野の指定はありません。

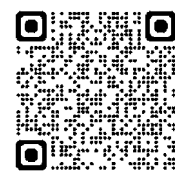
### ③ 応募期間

令和7年8月1日～令和7年12月15日

鳥取県福祉研究学会ホームページ

(<https://www.tottori-wel.or.jp/common/gakkai/>)

に詳細を掲載しておりますのでご確認ください。



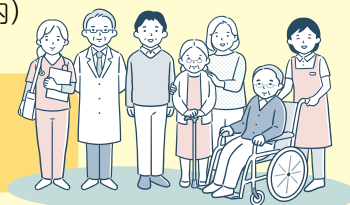
(鳥取県福祉研究学会ホームページ)

### ④ 応募先

鳥取県福祉研究学会事務局(鳥取県社会福祉協議会 福祉人材部内)

#### 第19回研究発表会の開催

- と き 令和8年2月21日(土)10:20～15:30(予定)
- と ころ 鳥取看護大学・鳥取短期大学(倉吉市福庭854)



### 【学会からのメッセージ】

何度も試行錯誤を重ね、ようやく生み出される成果があります。少し視点を変えるだけで思いがけない発見をすることもあります。

私たちは、皆さんのこうした努力を応援し、専門性やノウハウを共有して、鳥取県域の福祉社会の発展向上を図りたいと思っています。

研究発表は、社会福祉に関わる活動、研究等を行っている方が日頃からの成果を発表する場です。また、それは「自らを試し、自らを磨くこと」に他なりません。

皆さんの意欲的なチャレンジをお待ちしています！！

